

科目進度と各学年の到達目標

区分	学 年 領 域	1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
基礎科目	多様な価値観と文化	哲学	心理学	人間の価値と倫理	文化人類学	生命倫理学			
		文学			ジェンダーとセクシュアリティ	医療社会学			
						家族社会学			
	人間と環境	化学 生物学	地球環境論	人間工学					
	人間と生活と社会	日本国憲法と人権 家政学	スポーツと健康	教育学	人間と歴史	国際社会の動向			
	コミュニケーションと 情報	英語Ⅰ	英語Ⅱ	英語Ⅲ	中国語	医療英語		英語文献講読	
医療・看護と情報		情報リテラシー演習		韓国語					
文章表現法		統計学		ドイツ語					
学び方を学ぶ	クリティカルシンキング			手話					
	基礎ゼミナール								
専門基礎科目	健康な生活を支える 社会と医療のしくみ		公衆衛生学	社会保障論 疫学・保健統計	法と看護 保健医療福祉行政論	学校保健と産業保健 チーム医療論	社会福祉論		
				ヘルスプロモーション論					
	生命と発達と健康	人体の構造Ⅰ	人間発達論	臨床心理学					
		人体の構造Ⅱ	生化学	遺伝学					
			臨床栄養学						
	健康障害と治療		人体の機能Ⅰ						
微生物学		人体の機能Ⅱ							
病理学			病態治療学Ⅰ 病態治療学Ⅱ 薬理学	病態治療学Ⅲ 生体情報と看護 東洋医学と経絡 音楽療法					
専門科目	看護の基盤と なる科目	看護学原論							
		看護人間関係論 看護方法論演習Ⅰ (日常生活支援方法)	看護理論 看護方法論演習Ⅱ (診断－治療支援方法)						
			看護方法論演習Ⅲ(看護過程展開)						
			基礎看護学実習Ⅰ						
			基礎看護学実習Ⅱ(平成28年入学生)	基礎看護学実習Ⅱ(平成29・30年入学生)					
	看護実践を支える 理論科目		アセスメント論Ⅰ(ウェルネスフィジカル・成人)	実践看護学概論Ⅰ 実践看護学概論Ⅱ 家族看護論	健康看護支援論Ⅰ(公衆衛生看護) 健康障害看護援助論Ⅰ(クリティカルケア) 健康障害看護援助論Ⅱ(周手術期看護)	健康障害看護援助論Ⅵ(終末期看護) 健康障害看護援助論Ⅶ(在宅看護) 健康障害看護援助論Ⅸ(精神看護)		アセスメント論Ⅲ(地区アセスメント)	
				アセスメント論Ⅱ(小児・母性・精神・老年・在宅)	健康障害看護援助論Ⅲ(慢性期看護1)	健康看護支援・健康障害看護援助論演習Ⅰ (看護過程)			
				健康看護支援論Ⅱ(周産期看護)	健康障害看護援助論Ⅳ(慢性期看護2)	健康看護支援・健康障害看護援助論演習Ⅱ (看護技術)			
				健康看護支援論Ⅲ(成育看護)	健康障害看護援助論Ⅴ(回復期看護)				
				健康看護支援論Ⅳ(高齢者看護)	健康障害看護援助論Ⅶ(がん看護)				
					健康看護支援論演習(公衆衛生看護活動)				
	看護実践科目	ふれあい実習					健康看護支援・健康障害看護援助論実習Ⅰ (周産期)	健康看護支援論実習(公衆衛生)	
							健康看護支援・健康障害看護 援助論実習Ⅱ(小児期)		
							健康看護支援・健康障害看護援助論実習Ⅲ (成人・老年急性期)		
							健康看護支援・健康障害看護援助論実習Ⅳ (成人・老年慢性期)		
							健康看護支援・健康障害看護援助論実習Ⅴ (成人・老年回復期)		
							健康看護支援・健康障害看護援助論実習Ⅵ (在宅)		
							健康看護支援・健康障害看護援助論実習Ⅶ (精神)		
	看護管理/看護教育					看護マネジメント論Ⅰ(医療安全)		看護マネジメント論Ⅱ(看護管理)	看護倫理
							看護マネジメント論Ⅲ(公衆衛生看護管理)	看護専門職論	
看護の統合と発展					看護研究Ⅰ 災害看護学		看護研究Ⅱ		
							総合実習	国際看護学 現代社会と看護	
各学年別到達目標		多様な価値観や人生観に触れるとともに生活者の視点で人々の生活や環境を捉え、看護の対象となる人間を理解する。		人間の尊厳や人権および看護職者の責務と役割について理解する。		看護者の責務と役割に基づき、人間の尊厳や権利を尊重した行動がとれる。		豊かな感性と倫理観に基づく看護を実践できる。	
		人間関係を形成するための基礎的な知識を修得する。		倫理的課題を見出し解決するための能力を修得する。		倫理的な課題を見出し、解決するために考え行動できる。			
		人体の機能と構造に関する知識を身につける。		病態と治療に関する知識を身につける。		多様な健康レベルと看護の場にある対象に、科学的・専門的な知識と技術および態度を統合し、実践へ適用する能力を身につける。		看護の対象を総合的に理解し、科学的な知識・技術に基づいた看護を実践できる。	
		看護の本質、看護の役割と機能、看護の方法論に関する基礎的知識・技術・態度を身につける。		課題解決技法の基本を踏まえて、多様な健康レベルと看護の場にある対象のニーズに合わせた看護を展開する基礎的能力を修得する。					
		協調性を身につける。		他職種の機能と役割に関する知識を身につける。		保健・医療・福祉チームの一員としての自覚をもち、報告・連絡・相談ができる。		保健・医療・福祉チームの一員として、看護の役割と責任をもって協働できる。	
		グループの中で責任ある行動がとれる。		看護の役割と独自性について理解する。		グループメンバー内で協力し、リーダーシップ、メンバーシップを発揮できる。			
		主体的な学びとは何かを考えて行動できる。		生涯に渡る自己研鑽の必要性を理解できる。					
		必要な情報を適切に入手し活用することができる。		自己教育力を高める方法を理解し、個々が実施可能な方法を検討し実践できる。		課題に対して、自ら幅広く多様な情報を収集し、課題解決に向けて行動できる。		主体的学修能力を身につけ、看護の発展や質の向上に貢献できる。	
		様々な意見や考え方を客観的・批判的・多角的な視点で捉え、自分の考えを論理的に主張できる。							
	国際社会で必要となる英語力を身につける。		国際社会で必要となる多様な言語を身につける。		国際社会における保健・医療・福祉の現状と課題について理解する。				
			多様な文化的背景を持つ人々を理解する。		国際社会における健康課題と戦略を理解する。		国際的視野を持ち看護を実践できる。		
					国際的視野から看護専門職に求められる役割や責任を理解する。				